

# 春日神社

## 社報 春日神社

第二十九号

発行日 平成30年6月20日  
発行所 〒870-0031  
大分市勢家町4-6-87  
春日神社 宮司 宮本隆之  
TEL 097-532-5638  
題字 東郷平八郎

## もくじ

宮司挨拶／祭典ごよみ／夏季大祭のご案内・巡行路  
春日大社 来社参拝／日本書紀 編纂一三〇〇年  
天皇陛下御来県を振り返る／春日敬神婦人会日帰り親睦会  
神宮雅楽講習会／神社庁風俗舞・雅楽研修会  
蓬萊雅楽会の活動について／婚礼部より  
茅の輪神事／人事

# ご挨拶

宮司 宮本 隆之

今上陛下御即位三十年を寿ぎ、皇室の弥栄を賀し奉ります。  
さて当地では平年より一週間早い梅雨入りとなりました。鎮守の杜の木々の若葉が瑞々しく、昨年塗り替えられた御社殿の朱色を鮮かに浮かび上がらせています。

天皇陛下御譲位まで一年足らずとなり、また国会では憲法改正の議論が行われている中、四月に神道政治連盟の海外視察にてタイ国を訪問、同国の王室他について研修して参りました。今回の海外研修に先立つ一週間前に、沖縄県に行幸啓されました天皇皇后両陛下の奉迎活動にも参加致しましたが、あらためて皇室を敬仰する沖縄県民の熱い思いを身近に感じつつ、我が国と同様に国民が国王を敬愛するタイの国柄に深い関心を持っての研修となりました。

タイ国王は憲法下で仏教徒と定められており、九五%もの国民が仏教徒であることから、視察した寺院は言うまでもなく、車窓から見る寺院はどれも豪華絢爛で贅を尽しており、王宮もまた煌びやかな建物であることに驚かされました。その一方で他宗教を妨げてはならないとの規定もあるようで、このタイ仏教の有り方が、国の安定にも繋がっているのかもしれないと規定もあるようで、このタイ

枢密院顧問官を尊敬しての研修で、戦前に於いてアジアの中で日本とタイのみが独立を保ったことはタイ国民の大きな誇りである、との話がありました。王室と皇室、そしてこういう共通項を擁するところにも親日国家のベースがあるように思われます。さらに現憲法下でのタイ王室の権限また王位の継承についても話を伺いましたが、国王が軍部や政治と親密な関係性を保ち、少数宗教に対する予算や貧困層の農業従事者などの声によく耳を傾けて保証支援を行っていることなど、国民が王室を敬愛できるようなシステム造りがなされているように感じられました。生前継承については、ラーマ五世時代に悪しき前例を払拭し、男系子息を皇太子として王位継承するように定めたとされています。生前での継承については国王の心一つというのは独特な考え方だと感じました。

我が国の憲法はアメリカ力占領下中に制定されたものです。他国の例を良く研究し比較検討しながら、日本古来の伝統・文化を重んじつつ、良い部分は積極的に参考にするなどして、我が国柄にあった憲法の改正が必要ではないでしょうか。そのことを強く感じさせられた今回の研修でありました。氏子崇敬者皆様のご清栄をご祈念しつつ、此処にご報告方々巻頭のご挨拶とさせていただきます。

## 祭典ごよみ

六月 三十日 水無月 大祓式

七月 十八日 夏季大祭 宵祭

子ども神輿巡行

十九日 夏季大祭 夏越大祭

大神輿巡行

九月二十五日 撰社天満社祭

十月 十八日 秋季大祭 宵祭

十九日 秋季大祭 神幸祭

潮搔き神事



十一月十五日 七五三祭

※当日に限らず、毎日祈願祭を奉仕しています

十一月二十三日 新嘗祭

十二月二十三日 天長祭

十二月三十一日 師走大祓式・除夜祭

●毎月一日・十五日は月次祭




# 夏季 大祭

当社祭典の中で一番規模の大きい行事である夏季大祭まであとわずかとなりました。この行事に向けて、当社氏子青年会会長・総先導を中心に五月から準備会議を開始、そしていよいよ巡行路が決定しました。

神輿の担ぎ手は例年約六百名となっており、今年も氏子町内や一部企業からの参加者を取りまとめています。参加希望のお問い合わせは社務所までご一報下さい。

また、各企業のご協力により境内や参道には「奉燈」が灯されますので、こちららもご覧いただきどうぞご参拝をお待ちしております。

**七月十八日(水)**

午後四時 宵 祭

午後四時半 子ども神輿出御  
(雨天の場合は二十日順延)

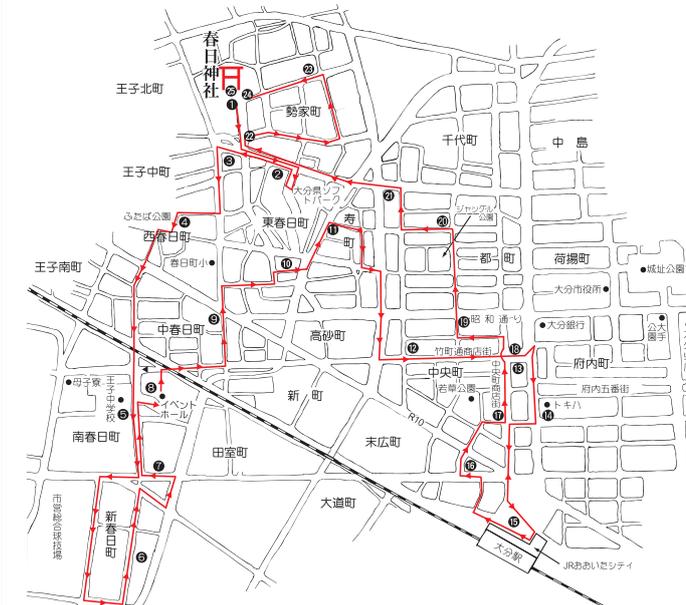
**七月十九日(木)**

午前十一時 夏越大祭

午後二時 大神輿出御

※両日とも庄内神準の奉納があります

### 《御神輿巡行路》



出 発 式 13:40	⑭ ト キ 八 18:10
① 春日神社出御 14:00	⑮ 大 分 駅 18:30
② ソフトパーク・OEC 14:10	(夕食休憩)
③ 東春日・肉の木村屋 14:20	大 分 駅 発 19:10
④ 西春日・大野屋ビル 14:35	⑯ 末広町小幡歯科 19:20
⑤ 王子 中 学 校 15:05	⑰ ヤノメガネ中央店 19:30
⑥ 新春日町公民館 15:45	⑱ ヤノメガネ竹町本店 19:50
⑦ 南春日・荒金酒店 16:05	⑲ 木村写真本館 19:55
⑧ 大分イベントホール 16:15	⑳ 都 町 第 一 ビル 20:00
⑨ 10号線・中春日交差点 16:35	㉑ 都 町 モ コ 美 容 室 20:35
⑩ 東春日・塚川病院 16:55	㉒ 神 社 大 鳥 居 20:40
⑪ ロイヤルシティー寿 17:10	㉓ 勢家町・松岡商事 21:15
⑫ ガレリア竹町西口 17:35	㉔ 春日神社神門前 21:50
⑬ ガレリア竹町ドーム 17:50	㉕ 春日神社還御 22:00

## 春日大社 花山院宮司ほか 来社の上 正式参拝



当神社の御本社である春日大社が、本年御創建一二五〇年を迎えました。全国およそ三千にも及ぶ春日社の総本社である奈良の春日大社は、神護景雲二年（七六八年）に称徳天皇の勅命によって、左大臣藤原永手が御本殿を創建したとされ、往時の様子は正倉院御物の地図の中にも表されています。平城京・国家国民の守護神として祭祀が始まり、皇室また多くの人々の尊崇を受けて春日信仰は全国に広がっていきました。

この記念すべき今年、五月二十六・二十七日の二日間にわたり春日大社宮司を初め崇敬者多数が来県、由縁の各所を歴訪されました。



春日大社の境内には「感謝・共生の館」という施設があり、年間を通じて「春日」に因んだ様々なテーマの研修が開催されています。その多くは一日または半日の講習会ですが、春日奥山にご鎮座の末社を巡拝する「春日山練成会（年三回開催）」や、「二泊三日にわたって参籠し、朝・夕拝や神社作法などを学ぶ「御巫修行研修（女性限定）」などもあるようです。

これらの研修会に度々参加する熱心な崇敬者を中心として、近年は「春日様由縁の地を尋ねる」という旅行が実施されている中、今回は関西をはなれて大分県の由縁ある場所をとということで、御分社のうち当社と三笠山春日神社（豊後高田市）、また同じ勅祭社の一つである宇佐神社など、県内の主要神社・仏閣を巡る研修の旅を企画されたとのこと。

研修初日の午後、花山院弘匡（かさんのいんひろただ）宮司様以下崇敬者一行六十一名は当社に到着。まず本殿での正式参拝となり、花山院宮司が代表で玉串を奉り、改めて国家皇室の安泰と旅の安全を祈願されました。引き続き、同所にて山本欄宜が由緒を説明。参列の皆さんは熱心に耳を傾けていた様子で、およそ一時間半の滞在中に花山院宮司は境内の各末社も巡拝するなど、有意義な時間を過ごされたようです。

その後一行は宿泊先において、花山院家・安心院佐田家に関わるとされる「宇佐の明治維新・御許山（おもとやま）騒動」に関する講演会を開催して全員が受講、翌日の県北各社寺の参拝とともに、研修・親睦を深めたということです。



来る日本書紀編纂一三〇〇年

# 神話に息づく春日のご祭神

日本書紀（にほんしよき）とは？

天地開闢から第四十一代持統天皇までの時代を記録した日本最初の正当な歴史書です。全部で三十巻と系図一卷からなります。最初の二巻が神話の時代を記した神代記になっています。

第四十代天武天皇の勅命を受けて天武天皇の皇子、舎人親王（とねりしんのう）が中心となつて約四十年をかけ、七二〇年に完成を奏上しました。来る二〇二〇年、平成の御世でいうと平成三十二年にあたる、ちょうど東京五輪開催と重なるその年に、日本書紀は編纂一三〇〇年を迎えます。

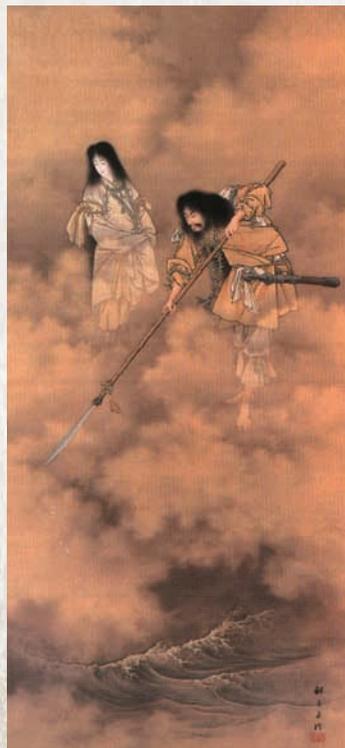
## 日本の公式歴史書

唐や新羅などの近隣諸外国と付き合うなかで、他国からも認められる国家となるためには史書を記し、国家の正当性を発信する必要があります。あつたといわれており、日本の初めての公式な歴史書であります。すべて漢文で書かれています。

「日本」という言葉が始めて歴史文献の中で登場するのも、「日本書紀」です。



国立国会図書館蔵



「天瓊を以て滄海を探る」  
小林永濯画 ポストン美術館蔵

## 語り継がれてきた記憶

文字として国家の歴史を残そうとする中で、本文以外にも「一書に曰く（あるふみにいわく）」などとして、いくつもの異伝や異説を併記しています。

古代の日本には様々な伝承が残されており、その中から一つのみを正しいとして採用するのではなく、古い言い伝えをできるかぎり広く集めて後世に残そうとした態度が示されています。

## 民族のアイデンティティ

世界の多くの国々において、その建国や民族の起源が神話に由来しているように、神話はその国、民族のアイデンティティを表しています。しかしながら現代にあつて、神話に纏わるものはやはり遺物であり名所のようなものとなつていきます。今後国際化が進み、何をもって日本人というのか、自らの拠り所となるものが問われていくようになっていくかもしれません。幸いなことに日本ではその神話が「歴史」の一部として今もなお皇室と神社を中心に生きて伝わっています。これは本当に重要なことです。

## 神代の歴史をたずねる

そこで当社では二年後に控えた日本書紀編纂一三〇〇年を契機として、また春日神社の御祭神は日本神話上で澆刺たる活躍をされた神々でありますことから、その事跡について神話を改めて掘り下げてみたいと計画をいたしました。

四柱の御祭神をよく御存じの皆様にとりましても、また違った姿をもつて立ち上がってくるかもしれません。

次号から本報上で春日神社のご祭神を数回にわたってご紹介していく予定です。

# 天皇陛下御来県を振り返る

天皇皇后陛下におかれましては、本年で即位三十年の佳節を迎えられました。

三十年のご在位の間、両陛下には四度当県に行幸啓頂いております。どの行幸啓も誠に有難く喜びに堪えませんが、近年では昨年の九州北部豪雨の際、たつての御希望として予定を変更して日田市に被災状況視察と被災者お見舞いのために御来県され、さらには災害対応の関係者の労を労われました。来年の御世替りが目前に迫る中、両陛下の御即位後に行われた行幸啓の足跡を、お言葉を交えて辿りたいと思います。

## 平成十二年四月二十二日～二十四日

第五十一回全国植樹祭 ご臨席(大分県民の森・平成森林公園)

第五十一回全国植樹祭レセプション ご臨席(第一ホテル大分オアシスタワー)

### ご視察

サン・コミュニケーション・大神(身体障害者療護施設「ゆうわ」)

・重度障害者多数雇用事務所「ソニー・太陽株式会社日出工場」(日出町)

おおいた香りの森博物館【野津原町】

大分県立先哲史料館【大分市】

別府市竹細工伝統産業会館【別府市】

### ～天皇陛下のお言葉～

第五十一回全国植樹祭に臨み、ここ大分県民の森「平成森林公園」において、全国からの参加者と共に植樹を行うことを誠に喜ばしく思います。

第一回の全国植樹祭はちょうど五十年前、昭和二十五年に植樹行事及び国土緑化大会として山梨県甲府市で開催されました。当時は、戦中戦後の多量の木材の需要に応じて、森林が伐採され、台風などにより、各地で大きな被害が生じているときでありました。このように荒廃した国土を救うことを目指して、この行事が行われるようになり、第一回のテーマはまさしく「荒廃地造林」でありました。その後も関係者のたゆみない植樹の努力が続けられ、植林地は著しく増加していきましたが、同時に、これに伴い植樹された森林を間伐などして健全に育成していくことが新たな課題として注目されるようになってきました。このような状況下、森林の手入れに関心を深めることを目的として昭和五十二年以来全国育樹祭が開催されるようになり、私共も各地で行われる全国育樹祭にかかわってきました。この全国育樹祭が初めて行われたのは、かつて第九回植樹行事及び国土緑化大会の開催された大分県別府市志高湖畔の森の中でありました。

### (中略)

この機会に皆さんが五十年にわたる国土緑化運動の歩みを振り返り、国土緑化に尽くした人々の功に思いを致し、この大会を今後の森林の在り方を多くの人々と共に考える契機とされることを心から希望いたします。

## 平成二十年九月二十六日～二十八日

第六十三回国民体育大会開会式 ご臨場(大分スポーツ公園九州石油ドーム【大分市】)

提灯奉迎にお応え(大分全日空ホテルオアシスタワー)

### ご訪問

大分県立病院総合周産期母子医療センター【大分市】

九重町役場【九重町】

### ご覧

ホッケー競技 (九重町活いきランド多目的グラウンド)【九重町】

新体操競技 (大分県立別府コンベンションセンタービーコンプラザ)【別府市】

### ご昼食

国民体育大会会長、知事、大分市長等大会関係者 (大分県運転免許センター)【大分市】

知事、九重町長等地元関係者及び警衛関係者 (九重町役場)【九重町】

## 平成二十七年十月三日～四日

太陽の家創立五十周年記念式典 ご臨席【別府市】

### ご視察

大分県立美術館【大分市】

### ご昼食

大分県知事、県議会議長、別府市長、市議会議長及び警衛関係者 (かんぼの宿別府)【別府市】

### お立ち寄り

西日本高速道路株式会社九州支社大分高速道路事務所【別府市】  
大分県日出総合庁舎【日出町】

## 平成二十九年十月二十七日

九州北部豪雨の被災者お見舞い 日田市役所【日田市】

災害対応尽力者お祝い(同地)





## 春日敬神婦人会 日帰り親睦会

当会では毎年、新緑が美しいこの時期に、県内の神社を参拝する日帰り親睦会を開催しています。今年も六月一日、会員二十名と神社から山本禰宜・井上権禰宜が同行して、別府市に鎮座の延喜式内社火男火賣神社を参拝しました。

平成十二年、創建一二五〇年を記念して整備された境内は清々しく、会員にも親しみのある鶴見嶽の神様を祀ることので、加藤兼司宮司様より伺った式内社また別府温泉の守り神としての歴史的なお話とあわせ、一同は郷土の文化や自然景観にも



思いを馳せての参拝となりました。その後、湯布院に移動して昼食をとり、観光としての帰社となりました。梅雨の切れ間の好天の中、本年も楽しく親睦を深めることが出来ました。

## 神宮雅楽講習会に

参加して

巫女 佐藤 未来



今年四月から正式な巫女となり、初めての研修となる伊勢神宮雅楽講習会に五日間参加させて頂きました。初めての伊勢でしたが、多くの参拝者にもかかわらず、参道は広くてゆつくりと参拝することができ、鳥居をくぐると心が清らかになるような感じがしました。神域の雰囲気もとても良かったです。

私が受けた舞の講習では、緊張しましたが初参加の方も多く、講師の先生に丁寧な指導が受けました。今回の研修はとても良い経験となりました。今後はご指導があった細かいところまでしっかり舞えるように頑張っていきたいと思っています。



## 平成大嘗祭主基地方風俗舞・

雅楽研修会

去る五月二十

六・二十七日の

二日間にわた

り、大分県神社

庁主催の研修会

が当社を会場に

開催され、当社

職員をはじめ県

内の若手を中心

とした神職が受

講しました。

講師には宮内庁楽部の先生方をお迎えして、初日に風俗舞の研修、そして二日目に雅楽(盤渉調)の研修が行われ、期間中は舞や歌を初め、管ごとに熱心かつ丁寧なご指導がありました。

毎年六月十四日の玖珠町・瀧神社での豊穰祈願祭にて奉納が行われる風俗舞ですが、御譲位に伴い、来年二月には次の主基地方が選ばれることとなります。大分県の神職として平成度の風俗舞をこれからも誇りをもって伝承していくことを、あらためて申し合わせた研修となりました。





## 蓬萊雅楽会の活動について



去る四月三十日、平成三十年度蓬萊雅楽会総会が社務所にて開催されました。  
 今までご指導をお願いしておりました海老海・佐藤両講師から退任の申し出があり、これを受け今年度から会の運営が左記の通り新体制にて行われることとなります。  
 また併せて四名の新入会員の報告も行われました。

会長	宮本隆之
副会長	嶋田博文
副会長	橋本敬
幹事長	山本龍司
鳳笙 講師	嶋田博文
副講師	佐々木浩文
箏 講師	工藤憲彰
副講師	松田暁
龍笛 講師	中山理生
副講師	秦千恵美

本年度も、当社恒例祭典での奏楽のほか県内社寺での奏楽、近郊の学校に向向いての雅楽教室、当社への職場体験生に對しての雅楽体験学習などを積極的に行う予定です。  
 毎週木曜日には社務所にて練習会を開催しており、宗教科関係者のみならず一般の方も所属しています。日本の文化を見て聞いて触れて体験したい方、興味のある方は一度、お訪ねいただければと思います。

### 退任のご挨拶

講師 佐藤 良 純

春日神社様とのご縁は、私が結婚を機に自坊白杵市の宝蓮寺へ修業の場を移させて頂いた時からであります。すでに兄と神社様とのご縁はありましたが、前宮司さまの願いの中、箏の指導をさせて頂く事となりました。嶋田先生のご尽力もあって三管まとまっていた演奏ができるようになり、楽箏や右舞の方まで、見させて頂きました。私自身ここで大きく成長させて頂いたと感謝に絶えない思いです。雅楽は、神仏への奉納樂として奏されるものであるとあらためて教えて頂いてきました。春日神社という母体があって、雅楽を研鑽させて頂けることは本当に稀有でもったいないことと思います。

この度は、一身上の都合により、蓬萊雅楽会から離れることとなりましたが、メンバーの方々におかれましては、根本の精神から外れないように雅楽を研鑽していただくのと幸いに存じます。長い間、誠にありがとうございました。





春日神社フロアショー

# 春日ウェディング

平成30年7月1日(日)

1部 13:30

2部 15:00

結婚予定ありの方も

なしの方も 参加OK!!

(お問合せ)

春日神社婚礼担当 TEL:097-532-5638

\*予約優先



# 夏越の大祓式 茅の輪神事のご案内

一年のちようど半分にあたる六月三十日には全国の神社で大祓式が行われます。この日、境内に茅(かや)で作られた輪が立てられ、「茅の輪(ちのわ)」神事と呼ばれる行事が執り行われます。この神事は半年の間に知らず知らずして身についた罪穢れを祓い除いて、無病息災・厄難消除を祈る神事です。

特に水無月の大祓式は、「夏越の大祓」とも呼ばれ、元気に暑い夏を乗り切るとともに、新たに迎える半年をさわやかにまた清らかに過ごしていこうとする、私たちの祖先の生活の知恵とも言うべきものです。

当社では三十日当日の朝から、神職の手により一本一本選り分けられたみずみずしい茅と青竹で作られた「茅の輪」が本殿前に設けられます。

水無月の 夏越の祓い する人は 千歳の命 延ぶというなり

近年、この「茅の輪」設置期間中の参拝が増加傾向にあり、一昨年より一般希望者を対象とした大祓祈願祭を執り行っています。

就きましては、本年も左記のとおりに齋行致しますので、ご都合に合う日時をご確認の上、是非来社頂きお祓いをお受けください。尚、この「茅の輪」は境内に数日間残しています。

## 一、祭典日時

六月三十日(土)

・午後五時

(受付時間 四時二十分～四十五分)

・午後六時

(受付時間 五時二十分～四十五分)

七月 一日(日)

・午後一時

(受付時間 〇時二十分～四十五分)

・午後四時

(受付時間 三時二十分～四十五分)

※本殿内席数先着四十八名を超える場合はお待ち頂き、右設定時間に連続して執行致しますことを、あらかじめご了承ください。

## 一、初穂料

お一人様 一千元

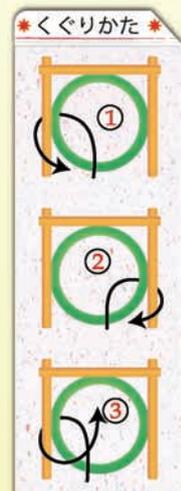
※授与所での受付時にお納めください。

## 一、当日の流れ

- ① 授与所にて受付
- ② 人形(ひとがた)に氏名を記入
- ③ 大祓詞奏上、切麻・大麻によるお祓い
- ④ 茅の輪くぐり
- ⑤ 御本殿にて祈願祭参列
- ⑥ 撤下品(おさがり)授与
- ⑦ 終了

※祭典は神職により執り進められます。所要時間は約三十分です。

## ○茅の輪のくぐり方



茅(かや)で作られた大きな輪のことで、それをくぐることにより、知らず知らずに犯した罪やけがれが祓われると云われています。くぐり方には決まりがあつて、左まわり・右まわり・左まわりと、8の字を書くように三度くぐり抜けます。そうすると身も心も清らかに祓われると云われています。

## 人事

### 退職

平成三十年二月二十八日付  
 用務員 佐々木 俊 昭

平成三十年三月三十一日付  
 権禰宜 野 中 公 隆  
 (野津町 山頭神社へ転任)

巫女 中村 莉 奈

### 採用

平成三十年四月一日付  
 権禰宜 秦 隆 介

巫女 佐藤 未 来

用務員 田 中 香